

#### ④住宅地・農業地域と中心部

## 郊外と中心市街地が、「自動運転バス」で結ばれるまち。



高齢で運転できなくなったらお出かけも大変です。



郊外から中心市街地へ、気軽にアクセスできると良いなあ。

ドライバー不足で「でんでんむし」も削減されたでしょ…。

内舘しげる

高齢化に伴い運転手さんの数が不足しています。その為、市民の足として人気の盛岡都心循環バス「でんでんむし」でさえ、30%もの便の削減に直面しています。とくに郊外から中心市街地へのアクセスの利便性向上は喫緊の課題です。これらの課題を解決するのが「自動運転ミニバス」の導入です。全国に先駆けて自動運転特区を取り、4年後には郊外と中心部とを自動運転ミニバスで結びます。

現在の盛岡市の20才～64才の人口16.1万人が2045年には11.5万人に！  
65才以上の人口7.8万人が、9.4万人に！自動運転バスの導入が絶対に必要です。

## CHANGE

### ☆全国に先駆けて自動運転実証特区へ！

- 2019年4月より、マイナス27℃の雪道でも走れる自動運転バスが、フィンランドで実地走行開始。盛岡でも全国に先駆けて自動運転実証特区認証を受け、4年後には郊外～住宅地～中心部を自動運転ミニバスで結び、利便性を飛躍的に向上させます。

### ☆郊外(農業地区)の生活と産業の支援を強化します

- 玉山地区の産業活性化支援策として「企業誘致」や「石川啄木をテーマとする観光コンテンツの開発と誘客」を行います。
- JAさんと協力し、広域での農業生産額を高めます。量販店には地域内生産物の仕入れの推奨、農家担い手不足への支援等、地産地消をすすめ、地域内自給率を高めます。

玉山・都南地区の今後の見通しや課題について、地区の皆さんと話し合い約束事を守り解決策を考えます。

### ☆町内会、自治会へのきめ細やかな支援

- 集会所整備への支援。建設費、備品整備の補助率を上げる。(4割→5割へ)座卓からイスへ。空き地の利用促進。

